

本の読み方と読んだあとの扱い方について

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。読書の秋になりましたので、読解力をつけてもらいたいということで、先週から「本の読み方」のお話をしています。先週は、カバンの中に文庫本や新書本や新聞をいつも入れておき、時間があったら取り出して読んでほしいというお話をさせていただきました。また、大切なところには線を引きながら読むといいよというお話もさせていただきました。
2. 実は、新聞も線を引きながら読むとよいのです。しかし、当日の新聞に線を引くと御家族の方に迷惑ですので、昨日の新聞を子どもたちにプレゼントしていただきたいと思います。すると、その新聞は子どもたちのものなので、切り取るのも線を引くのも自由です。ですから、お子さんたちは、御家族の方からプレゼントしていただいた昨日の新聞の中で大切な記事をハサミで切り取りましょう。それをノートなどに貼り付け、スクラップブックを作りましょう。そして、線を引きながら読み、コメントを加えるとよいと思います。

線を引きながら読むと、大切なところがよくわかってきます。また、印象的なところ・大事だと思うところに線を引いておくと、復習するときに役立ちます。線を引いたところを中心に何度も何度も読むと、繰り返し読む訓練にもなります。
3. 本を読むときにも、ボールペンを用意して大切なところに線を引いたり自分の考え方を書いたりしましょう。また、わからないことばがあったら辞書で調べ、それを欄外にボールペンで書くと、素晴らしい勉強ができます。本の線を引いたところ・自分の考え方を書いたメモは、読書を通して得られた非常に大切なものだと思います。読書を通して得られた価値だと思います。ですから、1冊の本から、1回の読書から大切なことをたくさん探し出して、人生の貴重な財産にするとうよいと思います。これも非常に大事なことです。
4. 本をたくさん読まれる方も少ししか読まれないう方も、何年か経つと本がたまってきます。私は、読んだ本はとっておきます。しかし、いろいろな考え方があり、家が狭くなるから全部古本屋さんへ売ってしまう・処分してしまうという方もいます。ただ、大切なお金で買った本ですから、それではあまりにももったいないです。そこで、本を整理して並べることをおすすめします。
5. 例えば、小説、歴史、政治、経済、自己啓発、ビジネスなどと分野別に並べるのもよいでしょ

う。さらに、小説は日本のものと外国のものに分け、歴史は日本の歴史・世界の歴史・中国の歴史・ローマの歴史や中世の歴史・近代の歴史のように分けます。また、理科系なら生物・物理・化学などに分け、お医者さんや看護師さんは医療関係のもの・福祉関係のものなどに分けることがおすすめです。

6. 繰り返しになりますが、処分するのは本当にもったいないです。そこで、書齋をミニ図書館のようにし、書齋がなかったら本棚をミニ図書館のようにして、自分で集めたり買い求めたりした本を上手く並べていただきたいと思います。この辺は歴史・この辺は音楽・この辺は好きなスポーツ・この辺は趣味の俳句や短歌・この辺は美術というように並べてうっとり眺めると面白いです。すべてが大切な本ですから、一度読み終わった本でももう一度読んでいただき、また、自分にとっての古典ですから、繰り返し繰り返し読んでいただきたいと思います。最後はやはり、自分にとって素晴らしい本は声に出しながら繰り返し読むとよいと思います。そうすると身になります。

自分にとっての古典といいますか、この本は絶対にとっておきたい、一生かけて大切にしたいという本は座右の書のように考え、遠慮しないで声に出して読んでいただければと思います。

7. ところで、皆さんは自分にとっての古典がありますか。私にはいくつかあります。二宮金次郎さんの自伝、福沢諭吉さんの自伝、石田梅岩という方が書いた「都鄙(とひ)問答」、宮本武蔵の「五輪書」、スタンダールの「赤と黒」などいろいろあります。皆さんにもそういう本がありましたら、どうか声に出して読んでいただけたらと思います。

8. また、経済の本や数学の本などの勉強の本も、懐かしいと思ったら声に出して読むと素晴らしい成果が出ます。ぜひ遠慮しないで声に出して読み、自分のものにしてください。声に出して何回も何回も読むと、自分の血となり肉となります。ですから、自分にとって価値ある本、自分にとっての古典は、ぜひ声に出して読んでいただければと思います。よろしく願いいたします。